

わかば

NALC豊中・池田拠点「わかばの会」会報

改定 第25号 (通巻 第182号)

発行 平成24年10月

事務局 豊中市上野西3-13-55 ラピスマンション605

Tel&Fax 06-6852-4802

e-mail nalctim2007@yahoo.co.jp

URL <http://sky.groceries.jp/nalctim2007/>

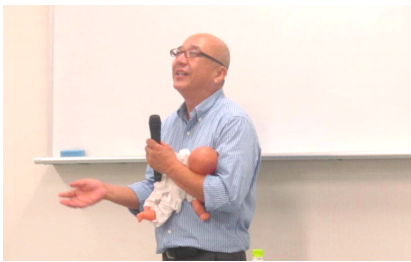
「子育て家庭への支援研修」が開かれました

10月4日(木)「地域のみんで考える子育て家庭への支援研修会」が「すこやかプラザ」にて開催されました。これはこども未来財団とナルクの主催、豊中市社会福祉協議会の後援で行われました。

最初にわかばの会を代表して大井さんの挨拶、第一部は「思春期から花開く子育てを目指して」と



題して、大阪人間科学大学副学長で精神科医の原田正文先生の基調講演が行われました。先生は明快な口調で、現在の親たちの特徴として子供の頃から幼い子供たちとの接触がない事、そしてそれと対峙して1950年代の子供たちは家庭の一員として家の手伝いや育児の重要な部分を担っていた事を話されました。幼い頃から育児にまったく関わった経験の無い現在の女性たちは、母親になっても子供への対応がわからず、それが様々な事件を生み出している事、これから先はその状態がもっとひどくなるだろうと言う言葉でした。また、専業主婦の誰かにほめられたいとの願いや、何も生み出していないかに見える生活の孤独感の話には、聞いていて心をゆさぶられる思いがしました。



第2部は、絵本とおもちゃの店を開業され、子供の遊びの環境や玩具・絵本についての講師などをされている岩城敏之先生の「笑って学ぶ子育てのコツ」というワークショップでした。岩城先生は実家がおもちゃ屋さんで幼いときからおもちゃに関わってこられた中で、おもちゃや絵本、そしてわらべ歌などが子供が育つ上でどれだけ重要なものかを笑いを交えて話されました。お手玉やおはじき、折り紙など手先を使う遊び、昔話にこめられた教訓、そして心を癒し

語りかけてくるわらべ歌、それらの日本の伝承文化が伝わっていない現実。子守唄を歌うとそれを歌ってくれた懐かしい人々の顔が浮かび声が聞こえてくると言う話には本当に納得させられました。

今回の研修は、今子育て中の人たちだけでなく、子育てが終わった私たちも地域でどのようにお手伝いをしていくのか考えさせられる講演でした。この研修の企画実行をしてくださった清水さんをはじめとした研修実行委員会の皆様、そして研修会に参加して下さった皆様、本当にありがとうございました。(吉田光代)

秋のバス旅行の最終ご案内

バス旅行が近づいてきました。39名の方から参加申込をいただいています。

今から体調に気をつけて、楽しいバス旅行にしましょう。

集合 : 7:30 千里中央・千里阪急ホテル横 → 8:00 蛍池ローソン前

緊急連絡先 : 千里中央から乗車予定の方 吉田光代(090-7117-2341)
 蛍池から乗車予定の方 鈴木陽子(090-9625-1038)

